

令和元年度 学校運営協議会 記録

日時： 令和元年6月22日（土）9:30~11:30

場所： 大阪府立布施北高等学校 校長室

出席者： 学校運営協議会委員6名、校長、教頭2名、首席2名、教諭1名

1 会長挨拶

- ・昨今の教育課題
- ・学校中心のコミュニティづくり。布施北のデュアルシステムが全国のモデルになれば素晴らしい。

2 校長挨拶

3 事務局より

- ・学校運営協議会実施要項について
- ・教科書選定について

4 委員からの意見聴取

【テーマ】「5年後・10年後を見通した布施北高校の方向性～エンパワメントスクールのビジョンづくりとその方策～」

【現状と課題】

- ・3/9校のエンパワメントスクールが定員割れ。布施北は安定して生徒を確保できている。
- ・エンパワメントスクールの完成期。デュアル関係授業は選択科目の一つになった。新入生アンケートの結果からは、基礎から学びたい、礼儀や敬語、コミュニケーション能力を身につけたい等、生徒の意識に変化が見られる。
- ・進学希望者数や配慮を要する生徒数が増加している。今後は、授業力アップ等、学校力の向上を図り、5年後・10年後を見据えて学校経営を行っていく必要がある。

【ご意見】

- ・遅刻や欠席の減少は、先生方の頑張りの成果である。
- ・「基礎から勉強したい」と思って入学した生徒が、卒業までにどう成長していくのかが楽しみである。
- ・教員はプロ意識を持って授業づくりをすすめてほしい。魅力ある授業は出席率の向上や子どもが学ぶきっかけにつながる。
- ・デュアル非選択から見た魅力づくりとデュアルシステムの定着の相乗効果が重要である。
- ・生徒に自己を律する忍耐力や生きる力を身につけさせることが大切。枠にはめるのではないが、ルールを守った上で楽しさを見つけ、学校生活の充実を図れるようにする。
- ・挨拶からの学校改善。まずは、教員から率先して挨拶を。
- ・デュアルシステム継続のために、今までの歩みや実績、教訓や課題等をまとめた「デュアルシステムハンドブック」を作成して引き継ぐ必要がある。また、デュアル・エンパワメント発表会は続けていくべきだと思う。
- ・事業所と学校や、小中高間の連携を、よりすすめてほしい。
- ・先生方が元気になる条件を整える手立てが必要である。
- ・若い教員が多いので、学校独自の人材育成カリキュラムを作り、中堅・ベテランが若手を育てる環境をつくってほしい。

【まとめ】

- ・布施北高校ならではの特色（デュアル実習等）は、地域や中学生から見えやすく、布施北で何を学びたいかについて具体的なイメージを描きやすい。中学生がストーリーを描けることが大切。将来を見通して、布施北独自のエンパワメントスクールをつくり、今後も生徒数を確保していくことが大切である。
- ・次回の学校運営協議会は、授業見学・学校視察後に実施する。また、デュアルシステムに特化して意見交換する場を設定する。